

京都教育大学附属桃山中学校

令和5年度 公開授業研究会 帰国生徒教育研究発表会

第2次案内

公開授業研究会 【研究目標】

「一人一人が学びの主人公になる授業づくりをめざして」

帰国生徒教育研究発表会 【研究主題】

「グローバル人材育成としての
帰国生徒教育についての実践研究」



8:45 9:20 10:10 11:00 11:20 12:10 13:10 14:40 15:00 16:30

| | | | | | | | | |
|----|-----|-------|-------|-------|-------|-------------------|-------|-----|
| 受付 | 全体会 | 公開授業Ⅰ | 移動・休憩 | 公開授業Ⅱ | 移動・休憩 | 帰国研究協議会 教科別協議会 | 移動・休憩 | 講演会 |
|----|-----|-------|-------|-------|-------|-------------------|-------|-----|

主催：京都教育大学附属桃山中学校 共催：京都教育大学

後援：京都府教育委員会 ・ 京都市教育委員会

ごあいさつ 校長 平石隆敏

平素は本校の教育にご理解とご支援をいただき、心より感謝申し上げます。

本校では「一人一人が学びの主人公となる授業づくり」をめざした教科研究を進めるとともに、長年にわたり積み重ねてきた帰国生徒教育の研究を総括すべく、全校をあげて取り組んでおります。

このたび令和5年度の公開授業研究会および帰国生徒教育研究発表会を開催することとなりました。

ご多用のこととは存じますが、ぜひともご参会いただき、ご指導ご助言たまわりますようお願い申し上げます。

公開授業研究会 【研究目標】

「一人一人が学びの主人公になる授業づくりをめざして」

本校では、令和の日本型学校教育が求める学びは「個別最適な学び」と「協働的な学び」が一体的に充実しているものと考え、「深い学び」を求めて生徒が学び合う授業の開発に取り組んできました。本年度は、生徒全員が夢中になって学ぶ姿を目指し、「一人一人が学びの主人公になる授業づくりをめざして」を研究目標としてかけ、それぞれの教科で“学びの主人公”とはどのようなものであるか考え、それに沿った授業づくりをおこなっています。来年度は、“学びの主人公”を定義するとともに授業を分析し、複数年を見通した研究主題と方向性を定めていきたいと考えています。



《公開授業Ⅰ》10:10～11:00

| 教科 | 学年 | 教材・単元 | 授業者 | 共同研究者/指導助言者 |
|----|------|---|-------|--|
| 数学 | 3年3組 | 相似 Google Jam boardなどのICT教材を利用した授業を中心におこないます。 | 佐々井智之 | 《共同研究者》 黒田 恭史(京都教育大学) 柳本 哲(京都教育大学) |
| 英語 | 3年2組 | Lesson5 「I Have a Dream」 キング牧師の話を通して、人種差別の課題を自分事として捉え、自分の考えを導き出します。 | 手嶋 晃一 | 《共同研究者》 西本 有逸(京都教育大学) |

《公開授業Ⅱ》11:20～12:10

| 教科 | クラス | 教材・単元 | 授業者 | 共同研究者/指導助言者 |
|----|------|--|-------|--|
| 国語 | 3年4組 | 「故郷」(魯迅、竹内好訳) 魯迅の他の作品と重ね読みをすることで、重層的に作品を読み解きます。 | 神崎 友子 | 《共同研究者》 植山 俊宏(京都教育大学) 天野 知幸(京都教育大学) |
| 数学 | 2年2組 | 場合の数 たくさんのミカンを生徒に分ける方法について、自分の考え方と他者の考え方をあわせて最良を探す姿をご覧ください。 | 福住 英仁 | 《共同研究者》 黒田 恭史(京都教育大学) 柳本 哲(京都教育大学) |
| 社会 | 2年1組 | 日本の諸地域 ～東北地方～ 持続可能な社会の創り手として、日本の諸地域の課題を捉え、考察します。 | 黒田 翔平 | 《共同研究者》 小栗 優貴(京都教育大学) 《指導助言者》 渡邊 洋史(京都府教育委員会) |

帰国生徒教育研究発表会【研究主題】

「グローバル人材育成としての 帰国生徒教育についての実践研究」



本校では、1975年に特設学級として帰国生徒教育学級が設立され、約50年にわたって帰国生徒教育の研究に取り組んできました。日本の学校生活への適応や日本語力向上を目指した指導にはじまり、海外経験を生かす授業のあり方、個性の伸長、自尊心を育む教育などのテーマを経て、グローバル人材の育成に焦点をあてた研究は本年度で8年目にあたります。

この帰国生徒教育学級は、令和5年度の入学生を最後に幕を下ろすことが決まっており、1・2年生そろっての発表は今年が最後となります。約50年続いた帰国生徒教育の研究は、京都教育大学および附属学校が共同して実践してきた価値あるものと考えます。これまでの帰国生徒教育の実践を振り返り、本年度の成果として発表します。

《公開授業Ⅰ》10:10～11:00

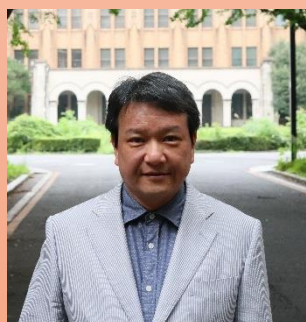
| 教科 | 学年 | 教材・単元 | 授業者 | 共同研究者 |
|----|----|---|-------|-------------------|
| 国語 | 2年 | 『わたし』のことを知っていますか(香山リカ) 「私のものではない国で」(温又柔) 「自分は自分である」とはどういうことを考えることを通して、帰国生徒たちのアイデンティティに迫ります。 | 渡邊 恵子 | 浜田 麻里 (京都教育大学) |
| 社会 | 1年 | 世界の諸地域 ～オセアニア州～ 生徒たちの経験した異文化の生活を振り返り、日本の多文化共生社会化へ向けた課題を考えます。 | 溝部 卓司 | |

《公開授業Ⅱ》11:20～12:10

| 教科 | 学年 | 教材・単元 | 授業者 | 共同研究者 |
|----|------|--|-------|-------------------|
| 道徳 | 1・2年 | 生命の尊重 「ブラックジャック」を通して、生徒が安楽死についてさまざまな価値観を共有し合い、受け入れ合う姿をご覧ください。 | 野上 華子 | 浜田 麻里 (京都教育大学) |

講演 「インクルーシブな学校への転換をめざして」

東京大学 教授 小国 喜弘



【プロフィール】

1966(昭和41)年兵庫県生まれ。89年東京大学文学部国史学科卒業。92年東京大学大学院教育学研究科学校教育学専攻修士課程修了。99年博士(教育学、東京大学)。成城大学文芸学部専任講師、首都大学東京都市教養学部准教授、早稲田大学教授などを経て、現在、東京大学大学院教育学研究科教授、東京大学大学院教育学研究科附属バリアフリー教育開発研究センター長。専攻は日本の教育実践史。大阪市立大空小学校の実践研究を行い、インクルーシブ教育の新たな可能性について研究を進めている。国立市フルインクルーシブ教育スーパーバイザーに就任。

参加費・申し込み方法

◆申し込み 「参加申込フォーム」よりお申し込みください。

<https://pay.f-regi.com/fc/kyokyo/council/momochu>

申し込み締め切り 11月13日(月)



◆参加費 一般 1,000円

(学生・京都府・京都市の公立学校、国立大学附属学校園の教員及び本学関係者は無料です)

お願い・その他

- ◆当日、靴袋をお持ちください。
- ◆上履きはこちらで用意いたします。ご持参いただいても構いません。
- ◆昼食場所は用意いたしますが、食堂や弁当販売はございません。
近くにコンビニやスーパーはございます。
- ◆生徒を対象にした写真・ビデオ撮影につきましてはご遠慮ください。
- ◆その他、何かご不明な点がございましたら、本校までお問い合わせください。

アクセス・お問い合わせ

◆駐車場はございませんので、公共の交通機関をご利用ください。

≪京都、奈良方面から≫

近鉄「丹波橋」駅下車

(急行で京都駅から約8分、奈良駅から約35分)

東へ徒歩3分

≪大阪、大津方面から≫

京阪「丹波橋」駅下車

(特急で淀屋橋駅から約40分、三条駅から約10分)

東へ徒歩3分

◆お問い合わせ

京都教育大学附属桃山中学校

〒612-0071 京都府京都市伏見区桃山井伊掃部東町16

TEL:075 - 611 - 0264 FAX:075 - 611 - 0371

HP:<https://momochu.kyokyo-u.ac.jp/>

